

京都大学教育研究振興財団助成事業
成 果 報 告 書

2025年 2月 3日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団

会 長 藤 洋 作 様

所 属 部 局 エネルギー理工学研究所

職 名 教授

氏 名 大垣 英明

助成の種類	令和6年度・国際会議開催助成		
国際会議名	第16回エコエネルギーと材料に関する国際会議(EMSES2025)		
開催期間	2025年1月8日～2025年1月10日		
開催場所	京都大学国際科学イノベーション棟		
参加者	総数 139	内訳 日本側65名、タイ側74名 学生65名、女性研究者40名	
成果の概要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版1枚程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有()		
会計報告	事業に要した経費総額	2,616,000 円	
	うち当財団からの助成額	340,000 円	
	その他の資金の出所	(機関や資金の名称) 京都大学エネルギー理工学研究所	
	経費の内訳と助成金の使途について		
	費 目	金 額 (円)	財団助成充当額 (円)
	京都大学国際科学イノベーション棟シンポジウムホール等使用料	340,000	340,000
	合 計	340,000	340,000
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) 今回の助成金は、本会議開催のため使用した、京都大学国際科学イノベーション棟シンポジウムホールやミーティングルームの使用料の支払いに使用させていただきました。助成を頂いた時期も早く、会議開催のための予算組みや、パートナー機関との打ち合わせ等にきちんと主催者側として金額が明示でき、スムーズに運営が出来ました。大変ありがとうございました。		

成果の概要

京都大学及び [Rajamangala University of Technology Thanyaburi \(RMUTT\)](https://www.rmUTT.ac.th/) と香川高等専門学校との共催にて、第 16 回エコエネルギーと材料に関する国際会議 (16th Eco-Energy and Materials Science and Engineering Symposium (EMSES2025)) を 2025 年 1 月 8 日より 10 日まで、国際科学イノベーション棟にて開催しました。本国際会議は第 1 回を RMUTT と本研究所の主催でタイ王国にて平成 13 年に開催し、それ以降日本とタイ王国の間ではほぼ 1 年毎に開催しています。今回の会議は 139 名 (日本側 65 名、タイ側 74 名) の参加者を得て、エネルギー技術、EV、環境科学、材料とナノテクノロジー及びエネルギー社会科学に関する研究発表が、パラレルセッション及びポスターセッションを含め、113 件の発表が行われました。

会議初日の 8 日のオープニングでは、片平 エネルギー理工学研究所所長、Sommai Pivsa-Art RMUTT 学長、香川高等専門学校の長尾先生から開会の挨拶の後、渡辺 生存圏研究所教授より「Lignocellulosic Biorefinery for Sustainable Humanosphere」、King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang の Wisanu Pecharapa 教授から「Natural-based Nanomaterials Synthesized by Ultrasonic-assisted Process and Their Applications」という題目でそれぞれ基調講演が行われました。その後 Materials Science and Nano Technology、Energy Technology、Electric Vehicle Technology、Energy Society and Sustainability の各パラレルセッション及びポスターセッションが行われました。8 日夕方からは 120 名の参加者を得てバンケットが開かれました。9 日には特別セッション Nuclear Fusion と Generation and Application of High-power Radiation Sources が行われました。10 日には Environmental Science を含むパラレルセッションが行われました。最後にクロージングセッションが行われ、12 名に対して Outstanding Presentation Award が、また Outstanding Poster Award が 5 名に対して贈られました。10 日午後からは京都大学エネルギー理工学研究所の KU-FEL 及び Heliotron J 施設への見学会が行われました。

今回の会議では、特に学生・女性研究者の発表を奨励して行われ、65 名の学生と 40 名を超える女性研究者が研究発表を行いました。また、今回の会議では 10 件のエネルギー社会科学分野の発表が行われた事も特筆すべきことです。これらのイベントを通じて、国・分野の異なる研究者ネットワークの拡大が行われました。また次回の EMSES 会議は、2027 年にタイ王国にて開催する事になっています。



EMSES2025 集合写真



1月10日のエクスカーショにて「ヘリオトロンJ」を訪問